

Light all

ライトオール塗装仕様書

4 kgセット

主剤 … 3.6 kg / 角缶
硬化剤 … 0.4 kg / 角缶

16 kgセット

主剤 … 14.4 kg / 角缶
硬化剤 … 1.6 kg / 角缶



□希釈用シンナー

No.4 (スプレー塗装用) 共通
No.6 (刷毛塗り用)

4ℓ缶 / 16ℓ缶



4ℓ缶 16ℓ缶

□トリアルキット (有償)

〈ライトオール 450mℓ・硬化剤 50mℓ・希釈用シンナー 200mℓ〉

塗装に適した材質

ステンレス・アルミ生地材・亜鉛引き鉄板・鉄・ウレタン塗装物
※その他の材質についてはご相談ください。

塗装工程

素地調整

脱脂して錆・油汚れ・塵埃等がない清浄な面にしてください。

⚠ 塗膜の耐久性は、素地調整の良否に大きく影響されます。
粉化物・油分・水分・塵埃等は塗膜の付着不良の原因になりますので、塗装前に入念に取り除いてください。

上塗 (1回目)

以下の条件で、塗装 (1 回目) を行ってください。

※ 1 回の乾燥膜厚は、平板上の場合目安として約25 μ m (スプレー塗装時) です。
ボックス状のものに塗装した場合、ドライミストの付着により膜厚は上記数値より大幅に上がります。

塗料名 (塗料系統)	ライトオール主剤 / 硬化剤 / 希釈シンナー ※1 (ポリウレタン樹脂塗料)
混合比	主 剤 : 9 硬化剤 : 1
塗装方法	刷毛 または スプレー
希釈率 (質量%)	刷毛塗り : 20~30 スプレー塗装 : 30~40
添付量 (g/m ²)	120~150
ポットライフ (20°C)	8時間

※1 スプレー塗装の場合はNo.4を、刷毛塗り塗装の場合はNo.6をおすすめします。

⚠ 調合について

- 塗料は缶の底からよくかき混ぜてから、『主剤と硬化剤』の組み合わせ及び混合比 (質量) をお間違えにならないよう注意して混合し、均一にかき混ぜてください。
- 混合した塗料はポットライフ時間内に必ずご使用ください。
- 希釈シンナーは必ず専用シンナーをご使用ください。
シンナー希釈率につきましては、刷毛20~30%・スプレー30~40%として、なるべく少ない量での施工をお願いします。あまり薄くすると、塗料の量と希釈とのバランスが悪くなり性能が下がりますので注意してください。

塗装について

- 塗装は、塗りムラや塗り残しがないよう丁寧に仕上げてください。
- 塗り重ねは、前工程の塗膜の乾燥を確認してから塗装してください。
- 塗装は、気温5°C以上・湿度85%以下の気象条件で行ってください。
- 被塗面が結露している場合は、必ず水分を除去した後に塗装してください。
- 基本的に鉄・ステンレス・アルミ・亜鉛引き鉄板への塗装時のプライマー処理は不要です。
- 立ち上がり部分およびアクリル板受けの裏側にも入念に塗装してください。

上塗 1 回目と同じ塗装条件・間隔を守り、下地の金属色が完全に消えるまで繰り返し塗装を行ってください。

※ 推奨膜厚は約100 μ mです。下地が白塗装された鉄板・アルミ複合板等の場合は、既存の塗膜とは別に約100 μ mの上塗りが必要です。

完成

■危険物有害性情報

- 引火性の高い液体
- 蒸気を吸入すると有害のおそれ
- 皮膚刺激・強い眼刺激
- 発ガンのおそれの疑い
- 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
- 臓器の障害、呼吸刺激を起こすおそれ
- 眠気やめまいのおそれ
- 長期にわたる、または反復暴露による臓器傷害のおそれ
- 水生生物に毒性
- 長期的影響により水生生物に有害



■予防策

- 使用前に取扱説明書入手し、安全を理解するまで取り扱わないようにしてください。
- 容器を密閉しておいてください。
- 熱・火花・裸火・煙草の火・高温のもののような着火源から遠ざけてください。
- 容器を接地し、アースをとる等の静電気放電の予防措置を講じてください。
- 防爆型の電気機器・換気装置・照明機器をご使用ください。
- 火花が発生しない工具をご使用ください。
- 保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣を着用ください。
- お取扱後はよく手を洗ってください。
- 汚染された作業衣は、作業場から出さないでください。
- この製品を使用する時に飲食をしないでください。
- 粉塵・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸引しないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみご使用ください。
- 環境への放出を避けてください。

■応急処置

- 火災の場合には、消火に粉末消火器・炭酸ガス・泡消火器をご使用ください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹸で洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断・手当てを受けてください。
- 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 吸入して気分が悪くなった場合は、医師に連絡してください。
- 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けてください。
- 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、直ちに医師の診断・手当てを受けてください。
- 漏出物を回収してください。

■保管

- 涼しく換気の良い場所に保管し、施錠をして子供の手の届かない所で管理してください。

■廃棄

- 内容物・容器は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物業者に廃棄を委託してください。